

山口情報芸術センター [YCAM] コンサート

日野浩志郎新作コンサートピース

GEIST

2019年12月14日(土)、15日(日) 各日14:00開演 / 19:00開演

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB

**気鋭のミュージシャンによる「全身聴取ライブ」が山口で復活！
新しい音楽体験が生まれる！**

山口情報芸術センター [YCAM] では、作曲家／ミュージシャンの日野浩志郎(ひの・こうしろう)による新作コンサートピース『GEIST (ガイスト)』を発表します。

今回新作を発表する日野は、関西を拠点に国内外で精力的に活動を展開するミュージシャンです。実験的なバンドgoat(ゴート)の主宰者として知られるほか、ソロミュージシャンやレーベルオーナーとしても活動しています。近年は太鼓芸能集団・鼓童への楽曲提供をおこなうなど、その活動に広がりを見せている注目のミュージシャンのひとりです。

本公演では日野が2018年に発表した、管楽器や打楽器などのいくつかの楽器のグループが、特殊な空間に点在しながら、演奏上のルールを同時に実行していくコンサートピース『GEIST』をもとに、楽曲や構成、舞台装置などの要素を大幅にアップデートした新作を制作、世界で初めて発表します。

音楽を聴取する経験がますますパーソナルなものとなる現在、演奏する空間や演奏者の存在に改めて着目し、テクノロジーを用いてそれらの機能を拡張を試みる本公演は、音楽聴取体験の新しいあり方を提示するでしょう。ぜひご参加ください。



本公演アーティストの日野浩志郎(上)と
本作の前作にあたる『GEIST』(2018年)の様子

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

気鋭のアーティストによる新作コンサートピース



YCAMにおけるgoatのライブコンサート（2018年）

■ 日野浩志郎（ひの・こうしろう）

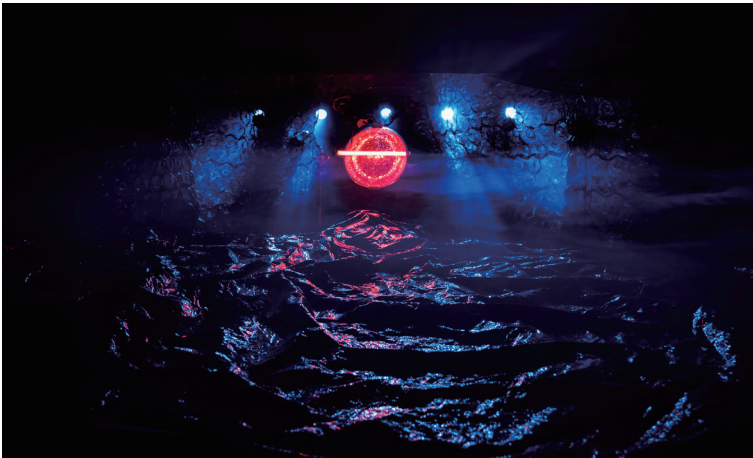
作曲家、ミュージシャン。1985年生まれ、島根県出身。実験的なリズムのアプローチを試みるグループ「goat」や「bonanzas」での活動の他、電子音楽を使ったソロプロジェクト「YPY」を行う。他にも電子音とクラシカル楽器を融合させたハイブリッドオーケストラ「Virginal Variations」、その発展として多数の音空間を混在させた全身聴取ライブ「GEIST」の作曲、演出を手掛ける。

YCAMでは、これまでに池田亮司、内橋和久、大友良英、坂本龍一、渋谷慶一郎といった第一線で活躍する音楽家／アーティストたちを迎え、メディア・テクノロジーと「音」との関わりの中から生まれる新たな表現を探求すべく、新作のサウンドインスタレーションや、コンサートピースを多数発表してきました。今回は国内外から注目を集める気鋭の作曲家／ミュージシャンの日野浩志郎による新作コンサートピースを発表します。

日野は大阪を拠点に、ソロ活動からバンド活動まで幅広い形態で音楽活動を展開しています。とくに2018年にYCAMでもライブコンサートを開催した自身の主宰するバンド〈goat〉におけるリズムと音色への実験的なアプローチは高い評価を受けており、近年は国外でも数多くのライブコンサートを開催。アンダーグラウンドシーンに止まらない活躍を見せています。また、太鼓芸能集団・鼓童への楽曲提供をおこなっているほか、自身の音楽レーベル〈birdFriend〉を主宰し、国内外の優れたミュージシャンの音源の発掘／紹介にも積極的に取り組むなど、自身による演奏や楽曲制作以外の、音楽を取り巻く様々な活動に対しても一貫して独自の姿勢で切り込んでいるのも大きな魅力のひとつです。

本コンサートでは、日野が近年取り組んでいるオーケストラ作品の中から、2018年に大阪で発表され話題を呼んだ『GEIST』をベースに、音とメディアテクノロジーにまつわる実験の成果を盛り込み、大幅にアップデート。内容を完全に一新した新バージョンを世界で初めて発表します。

打楽器、弦楽器、管楽器、電子音を通じて特殊な存在を浮かび上がらせる



《GEIST》(2018年)

本作は、2018年3月に大阪で発表された日野によるコンサートピース『GEIST』の発展版です。

『GEIST』は、造船所跡地の吹き抜け空間という特殊な空間で上演された作品です。タイトルはドイツ語で「幽霊（靈魂）」を意味する言葉です。演奏を通じて会場内に浮かび上がる特殊な存在感、そして観客がコンサートを通じて獲得する時間や物理的なスケールを超越した浮遊感の追求が『GEIST』のテーマとなっています。

会場には黒を基調とした巨大なバルーン状の舞台装置が設置されており、コンサートピースでありながら、インスタレーション作品としての側面も含まれる総合的な作品となっています。また、会場には15台のスピーカーが、上下左右に観客を取り囲むように配置されており、虫や鳥の鳴き声、風の音などの野外で録音された音源や電子音が再生されます。さらに、会場のそこかしこに点在する14人の打楽器、管楽器、弦楽器の奏者たちが、あるルールをもって演奏を展開。その音が、スピーカーからの音と交わることで、同時多発的な音の振る舞いが、会場に特殊な一体感を生み出します。

多くの観客を集め、高い評価を受けながらも、特殊な形態の作品ゆえに再演は不可能とされていた『GEIST』でしたが、今回、そのテーマを引き継ぎながら、大幅にバージョンアップして復活。日野がこれまで試みてきた数々の作曲アプローチのさらなる拡張を試みるとともに、構成や舞台装置などの要素も一新され、これまでにない音楽の聴取体験が創出されます。

開催概要

日野浩志郎新作コンサートピース GEIST

2019年12月14日(土)、15日(日) 各日14:00開演／19:00開演
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB
定員：各回56名
要チケット購入(右欄参照)

出演：日野浩志郎 (goat / YPY)、山本達久、Joe Talia、中川裕貴、カメイナホコ、石原只寛ほか

主催：公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市、山口市教育委員会
技術協力：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

コンサートプログラム

細井美裕＋石若駿＋YCAM新作コンサートピース Sound Mine (サウンド・マイン)

ボイスアーティストの細井美裕と、世界的に注目を集める若手打楽器奏者・石若駿、YCAMのコラボレーションにより制作する新作コンサートピースを発表する公演です。

2019年11月15日(金)、16日(土) 各日19:00集合
集合場所：駐車場側入口 要チケット購入

同時開催プログラム

contact Gonzo＋YCAMバイオ・リサーチ

wow, see you in the next life. / 過去と未来、不確かな情報についての考察

アーティスト集団contact GonzoとYCAMバイオ・リサーチによる新作インスタレーションを発表する展覧会です。

2019年10月12日(土)～2020年1月19日(日) 10:00～19:00
会場：スタジオA 入場無料

■ チケット情報

発売日：8月29日(木)

チケット料金【全席自由】：

前売	
一般	3,500円
any 会員 / 特別割引	2,500円
25歳以下	2,000円
当日	
一律	4,000円

チケット購入方法はウェブサイトをご確認ください。

セブンコード：

078-891

ウェブサイト：

www.ycam.jp

■ 関連プログラムの申込方法

下記ウェブサイト内に用意された申込フォームに必要事項をご記入ください。

ウェブサイト：

www.ycam.jp